

# ポーランド政治・経済・社会情勢

(2016年6月16日～2016年6月22日)

平成 28 年(2016 年)6 月 24 日

H E A D L I N E S

## 政治

野党・市民プラットフォーム、マチェレヴィチ国防相への不信任決議案を提出  
 ワルシャワ管区裁判所、政府専用機墜落事故当時の政府警護局高官に有罪判決  
 ヴァシチコフスキ外相のイスラエル訪問  
 ヴァシチコフスキ外相ドイチェ・ベレ放送のインタビュー  
 国防副大臣、V4装備副大臣級会合に参加  
 中欧イニシアチブ会議開催  
 ポーランド・アルゼンチン政府間協議開催  
 ドゥダ大統領のポーランド・ドイツ善隣友好協力条約締結25周年記念式典  
 ガウク独大統領の訪問  
 アナコンダ演習終了  
 ポーランド軍をイラク及びクウェートへ派遣  
 バルトミリタリーEXPOが開催  
 ポーランド・チェコ・フォーラムの開催  
 NATO の門戸開放政策に関する会議開催  
 習近平中国国家主席の訪問  
 中国との文化協力議定書署名  
 ドゥダ大統領とオランダ仏大統領の電話会談  
 ポーランド・ドイツ政府間協議開催  
 ヴァシチコフスキ外相とシュタインマイア独外相との会談  
 ポーランド・ドイツ共同歴史教科書の発表

## 経済

金融機関税の歳入水準  
 中小企業に対する法人税減税案  
 中国国家主席のポーランド訪問  
 6月の失業率見通し  
 ポーランドの直接投資受入れ減少－UNCTAD  
 シヴィノウインチェLNG基地に商業用ガスが到着  
 ノルウェーからの天然ガス輸送の協議は今年末までに決着  
 夏場の電力不足に備え近隣国からの非常時電力供給の交渉－PSE  
 大統領、風力発電規制に関する法律に署名

## 大使館からのお知らせ

在外選挙(第24回参議院議員通常選挙について)  
 イスラム過激派組織によるラマダン期間中のテロを呼びかける声明の発出に伴う注意喚起  
 パスポートダウンロード申請書のご案内  
 海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ  
 大使館広報文化センター開館時間  
 文化行事・大使館関連行事

ポーランド日本国大使館  
 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696  
 5000[http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！  
 問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

## 政 治

## 内政

野党・市民プラットフォーム、マチェレヴィチ国防相への不信任決議案を提出【20日】

20日、最大野党・市民プラットフォーム(PO)は、18日付ガゼタ・ヴィボルチャ紙がマチェレヴィチ国防相が共産主義時代の諜報員と深い関係にある旨報じたことを受け、国防相側から然るべき説明がないとして、下院に不信任決議案を提出した。

ワルシャワ管区裁判所、政府専用機墜落事故当時の政府警護局高官に有罪判決【21日】

21日、ワルシャワ管区裁判所は、2010年の4月7日のトゥスク首相(当時)のロシア・スモレンスク訪問及び同月10日の政府専用機が墜落したカチンスキ大統領(当時)の同地訪問の要人警護計画の準備・実施に不備があったとして、当時の政府警護局(BOR)副長官のビエラヴヌィ氏に懲役1年半、出向猶予3年、1万ズロチの罰金、5年間のBORでの職務停止の判決を下した。同判決は上告される見通し。

## 外交・安全保障

ヴァシチコフスキ外相のイスラエル訪問【15日】

15日、ヴァシチコフスキ外相は、イスラエルを訪問し、ネタニヤフ首相及びリベルマン国防相と会談を行い、中東情勢を含めた国際情勢及び二国間関係について意見交換した。また、ラマツラにてハムダラー・パレスチナ自治政府高官及びマルキ・パレスチナ外相との会談を行い、中東和平プロセスの再開、パレスチナ・EU間の経済・政治関係について意見交換した。

ヴァシチコフスキ外相ドイチェ・ベレ放送のインタビュー【15日】

15日、ヴァシチコフスキ外相は、ドイチェ・ベレ放送のインタビューに応え、ポーランド・独の二国間関係の中で最も重要な課題として、ドイツ在住のポーランド人の地位の改善及びドイツ人が持つ対ポーランドのイメージの向上であり、両国の経済関係について、2015年の貿易額が900億ユーロを超え、ポーランドがドイツの第7位の貿易パートナーであるなど、極めて良い関係である。一番必要なのは安全保障の分野での善隣的な協力である旨述べた。

国防副大臣、V4装備副大臣級会合に参加【16日】

15日、コヴナチキ国防副大臣は、プラハにて開催されたV4装備副大臣級会合に参加し、武器装備技術の開発と協力について議論した。次の会合は、9月8日にポーランドのケルツェで開催する予定である。

中欧イニシアチブ会議開催【16日】

16日、ステンブコフスキ外務次官は、ボスニア・ヘルツェゴビナのバニャ・ルカにて開催された中欧イニシアチブの外務大臣級会合に出席した。同会合ではEUの地域拡大政策、東方パートナーシップ及びイニシアチブ加盟諸国間協力が協議された。

ポーランド・アルゼンチン政務協議開催【17日】

17日、カツペルチク外務次官は、ワルシャワにて開催された第6回ポーランド・アルゼンチン政務協議に出席し、政治、経済、科学・技術の分野における協力、文化関係及び国連での共同の取り組み及び南極地方での協力の可能性について協議した。

ドゥダ大統領のポーランド・ドイツ善隣友好協力条約締結25周年記念式典【17日】

16~17日、ドゥダ大統領が、ベルリンにてポーランド・ドイツ善隣友好協力条約締結25周年記念式典に出席し、両国の相互理解を深めていくことを希望する、ポーランド・ドイツ善隣友好協力条約は和解の成果であり、ポーランド国民が和解を選択したことを誇りに思う旨述べた。その後ガウク独大統領及びメルケル同首相と会談を行った。

ガウク独大統領の訪問【17日】

17日、ガウク独大統領は、ポーランド・ドイツ善隣友好協力条約25周年記念の両国首脳相互訪問の一環としてワルシャワを訪問し、ドゥダ大統領とポーランド・ドイツ・リフレクション・グループの発足会合への出席、首脳会談及びシドゥウオ首相との会談を行った。

アナコンダ演習終了【17日】

17日、アナコンダ演習は教訓を得て終了した。ブリュッセルにおいて、ポーランド国防省EU代表部は、チェコ、スロバキア及びハンガリーのV4諸国の国防省EU代表部並びにウクライナ国防省とともに、ウクライナがEUのV4戦闘グループに加入し、協力を行っていくことに合意した。

ポーランド軍をイラク及びクウェートへ派遣【18日】

18日、国家安全保障局は、17日にドゥダ大統領が、6月20日から12月31日までの間、ISILに対す

る有志連合として、「生来の決意作戦 (Operation Inherent Resolve)」のために、ポーランド軍の部隊をクウェート及びイラクへ派遣することを決定したと発表した。

派遣部隊は、クウェートに派遣するF-16を4機及び最大150名の陸軍兵士、並びにイラクに派遣するイラク軍に対する訓練支援の任務の最大60名の特殊部隊から構成される。

#### バルトミリタリーEXPOが開催【20～22日】

20日～22日、ポーランド軍統合全般司令部と海軍監察部が主催し、グダンスク市内において、第14回バルトミリタリーEXPOが開催され、15カ国から140社以上が参加した。

#### ポーランド・チェコ・フォーラムの開催【21日】

21日、チェコ訪問中のカツペルチク外務次官は、2008年にポーランドとチェコの当時の外務大臣が署名した覚書に基づいて2009年に発足されたポーランド・チェコ・フォーラムの開会式に出席し、両国の戦略的なパートナーシップ及び貿易額の高さ等について言及した。

#### NATOの門戸開放政策に関する会議開催【21日】

21日、ジュウコフスキ外務次官は、ワルシャワで開催されたNATOの門戸開放政策に関する会議にジョージア及びマケドニアの国防大臣と共に出席し、ポーランドがこれらの国のNATO加盟を支持していく旨述べた。

#### 習近平中国国家主席の訪問【22日】

19日～21日、習近平中国国家主席がワルシャワを訪問し、ドゥダ大統領と会談、会談後に包括的な戦略的パートナーシップ確立に関する共同声明に署名した他、シドゥウオ首相とも会談した。また「一路一帯」構想に関する経済フォーラム及び地方政府協力フォーラムにも出席した。同国家主席の訪問中に両国の政府間、企業間等を含めた覚書及び協定等が40以上結ばれた。

#### 中国との文化協力議定書署名【22日】

20日、ワルシャワにて、セリン文化及び国家遺産省次官及び Xu Jian 駐ポーランド中国大使により、両国の文化施設及び芸術協会の協力、相互訪問を通して芸術者交流、芸術団体の国際芸術祭やコンテストへの参加の支援及び文化専門家の交流を促進するための議定書が署名された。

#### ドゥダ大統領とオランダ仏大統領の電話会談【22日】

21日、ドゥダ大統領は、オランダ仏大統領と45分に亘って電話会談をし、NATOワルシャワ首脳会合、東方政策及び英国のEU離脱にかかる国民投票について意見交換を行った。

#### ポーランド・ドイツ政府間協議開催【23日】

22日、ベルリンにてポーランド・ドイツ善隣協力条約25周年記念の一環として両国のほぼ全ての閣僚が出席し第14回ポーランド・ドイツ政府間協議が開催され、過去25年の両国の緊密な関係、安全保障課題及び共同インフラ事業等について協議した。

#### ヴァシチコフスキ外相とシュタインマイヤー独外相との会談【23日】

22日、ベルリンで開催されたドイツ・ポーランドの政府間協議に際し、ヴァシチコフスキ外相はシュタインマイヤー独外相と会談し二国間関係、NATOワルシャワ首脳会合及び欧州の将来について意見交換し、共同宣言を採択した。

#### ポーランド・ドイツ共同歴史教科書の発表【23日】

22日、ヴァシチコフスキ外相とシュタインマイヤー独外相は、ポーランド・ドイツ善隣協力条約25周年記念の一環として両国が共同で製作した歴史の教科書の発表を行った。今回発表された第一冊目は、先史時代から中世までについて書かれており、その後1990年までを扱った内容は2018年に出版される予定。

## 経 済

### 経済政策

#### 金融機関税の歳入水準【16日】

16日、ヤンチク財務副大臣は、金融機関税の導入による2016年の歳入は、当初想定55億ズロチを下回る40億ズロチを見込んでおりと発言した。また、同税法の改正は近い将来は予定されていないとした。

#### 法人税減税案【21日】

シドゥウオ首相は、年収120万ユーロ以下の中小企業について、法人税を現在の19%から15%に減税する法案を提出したいと発言した。2017年1月の導入を目指しているとのこと。

#### 中国国家主席のポーランド訪問【20日、21日】

習近平・中国国家主席は19日からポーランドを訪問し、陸と海で中国と欧州を結び、新シルクロードと

呼ばれる「一帯一路構想」に関する2日間のフォーラムに出席した。同主席の代表団は、リンゴや鶏肉を中心とするポーランドの農産品の中国への輸出、航空産業、郵便、及び医薬品の取引等における協力に関する覚書等に署名した。また、両首脳は、経済、貿易、金融等での両国間協力等に関する戦略パートナ

ーシップを発表した。

(参考:一帯一路構想:2014年11月のアジア太平洋経済協力首脳会議で、習近平主席が提唱した経済圏構想。ポーランドではこれに先立ちウッチー成都間の鉄道が2013年に完成。また、ワルシャワ-蘇州間の鉄道が2014年に運行開始。)

## マクロ経済動向・統計

### 6月の失業率見通し【21日】

21日、ジュフェド労働副大臣は、6月の失業率は5月の9.2%を下回る見込みであるが、8%代への期待は楽観的すぎると述べた。

### ポーランドの対内直接投資受入れ減少－UNCTAD【22日】

UNCTAD が公表した2016年版世界投資報告書において、2015年のポーランドの対内直接投資受入れ額は75億米ドルで、前年よりも低下し、ポーランドは昨年の20位から落ちた。また、同報告書では、安全保障上の理由からポーランド政府が導入しエネルギー、化学等の戦略的企業投資規制策を紹介した。

## ポーランド産業動向

### ポーランドの食料品価格はEU内最安－Eurostat【16日】

Eurostat のデータによると、2015年のポーランドの食料品価格は、EU平均の63%であり最も安いという。他にはルーマニア(同64%)、ブルガリア(同70%)、リトアニア(78%)、チェコ及びハンガリー(同79%)といった国が並ぶ。他方、最も価格が高かったのは、デンマーク(同145%)であった。

### TRI ポーランドを表彰－Rzeczpospolita 紙【22日】

Rzeczpospolita 紙は、Economic Patriotism Award の中規模企業部門でTRIポーランドを表彰した。この賞は、ポーランドの対外イメージ向上や社会・国家への貢献があった企業を表彰するというもの。表彰式では、同社加藤社長よりポーランド社会の一員として、企業やポーランドの発展に貢献していきたいと述べた。

## エネルギー・環境

### シヴィノウシチェLNG基地に商業用到着【17日】

17日、シヴィノウシチェLNG基地に、カタールより最初の商業用LNG約21万立米が到着した。今後毎月1便のペースでLNGが同基地に輸送される。また、18日にはLNG基地設立を構想をした故レフ・カチンスキ大統領をたたえる記念碑の除幕式が行われ、ドゥダ大統領、シドゥオ首相及びカチンスキPiS党首等の政府・与党の要人が出席した。

### ノルウェーからの天然ガス輸送の協議は今年末までに決着【20日】

ナウムスキ・戦略的エネルギーインフラ担当政府特命全権は、ノルウェーからの天然ガス輸送に関する協議は今年末までに結論が出ると述べた。パイプライン建設には3-4年程度かかるという。同全権は、シヴィノウシチェLNG基地がポーランドのみならず中欧地域へのガス供給の拠点になると述べた。

### 夏場の電力不足に備え近隣国からの非常時電力供

### 給の交渉－PSE【21日】

国有送電会社PSEは、近隣国の電力企業に対し、緊急時に最大約1,000MW規模の電力供給の交渉を開始したと報じられている。しかし、欧州送電系統運用者ネットワーク(ENTSO-E)によれば、例えばドイツからポーランドに送電する場合、不安定な再生可能エネルギー電力の輸入には、ポーランド側の容量制限や周波数の対応等の課題がある。電力価格は通常の商業契約価格となると見られているが、近隣国から購入した場合、ポーランドの発電よりも割安になる(ポーランド:1MWhあたり150ズロチ、スウェーデン・チェコ等:同116ズロチ)と記事では指摘している。

### 大統領、風力発電規制に関する法律に署名【22日】

22日、ドゥダ大統領は、風力発電の新規建設等を制限する法律に署名した。



**在外選挙(第24回参議院議員通常選挙について)**

6月23日(木)から「第24回参議院議員通常選挙」に伴う在外投票が行われています。在外選挙人名簿への登録がお済みで、投票を希望する方は、以下2点の書類を必ず持参の上、在ポーランド日本国大使館まで来館ください。

【持参すべき書類】(1)在外選挙人証(2)パスポート等の身分証明書

【投票期日】6月23日(木)～7月2日(土)

【投票時間】午前9時30分～午後5時まで(投票期間中は土・日も投票できます)

なお、今回の選挙に関する案内や候補者の情報等につきましては、以下リンクをご参照ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/201606senkyo.pdf> 在外選挙(第24回参議院議員通常選挙について)

<http://www.soumu.go.jp/senkyo/24hce/> (第24回参議院議員通常選挙 候補者・名簿届出政党等情報)

**イスラム過激派組織によるラマダン期間中のテロを呼びかける声明の発出に伴う注意喚起**

1. 5月21日、イスラム過激派組織 ISIL は、ラマダン期間中のテロを広く呼びかける声明をインターネット上に公開しました。同声明では、特に欧米諸国におけるテロの実行を呼びかけており、民間人を対象としたいわゆる一匹狼(ローンウルフ)型のテロの発生も懸念されます。本年については、6月6日頃から7月5日頃までが、ラマダン月(イスラム教徒が同月に当たる約1か月の間、日の出から日没まで断食する)に当たります。また、ラマダン終了後には、イードと呼ばれるラマダン明けの祭りが行われます。

2. ISIL は、昨2015年のラマダン月(6月18日頃～7月17日頃)においても、同様の声明を発出しています。同声明との関係は明らかではありませんが、昨年のラマダン期間中には、チュニジア沿岸部スースのリゾートホテル及び隣接するビーチが武装集団に襲撃され、外国人観光客38人が殺害されるテロ事件(6月26日)のほか、以下のテロ事件が発生しています。犯行主体は、ISIL 関連組織に限られませんので、様々なイスラム過激派によるテロに警戒が必要です。

- ・フランス: 東部リヨンにおけるテロ事件(6月26日)
- ・クウェート: シーア派モスクにおける自爆テロ事件(6月26日)
- ・エジプト: カイロ郊外における検事総長殺害テロ事件(6月29日)
- ・マリ: 北部における国連車列襲撃テロ事件(7月2日)
- ・ナイジェリア: 北部及び中部での連続爆弾テロ事件(7月5日～7日)
- ・エジプト: カイロ市内のイタリア総領事館前での爆弾テロ事件(7月11日)

なお、上記事件のうち、複数の国で大規模なテロが発生した6月26日は金曜日に当たります。イスラム教では、金曜日が集団礼拝の日であり、その際、モスク等宗教施設やデモ等を狙ったテロや襲撃が行われることもあります。なお、本年のラマダン月については、6月10日、17日、24日、7月1日が金曜日に当たります。

3. ついては、特にラマダン(特に金曜日)及びイード期間中やその前後に海外に渡航・滞在される方は、従来以上に安全に注意する必要があることを認識し、外務省が発出する海外安全情報及び報道等により、最新の治安情勢等、渡航・滞在先について最新の関連情報の入手に努めるとともに、改めて危機管理意識を持つよう努めてください。テロ、誘拐等の不測の事態に巻き込まれることのないよう、特にテロの標的となりやすい場所(モスク等宗教関連施設、政府・軍・警察関係施設、欧米関連施設、公共交通機関、観光施設、デパートや市場等不特定多数が集まる場所等)を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる等、安全確保に十分注意を払ってください。

4. なお、本年のラマダン期間中(6月6日頃から7月5日頃)には、仏において、サッカーの欧州選手権(6月10日～、同日はラマダン月最初の金曜日)、自転車のツール・ド・フランス(7月4日～)が予定されています。そのような世界的に注目を集めるイベントについても、テロの標的となる可能性があります。

仏でのイベントに関する注意喚起については、以下も参照してください。

・「フランス: サッカー欧州選手権等イベント開催に伴うテロの脅威に関する注意喚起」

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo.asp?infocode=2016C152>

5. 海外渡航前には万が一に備え、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようしてくだ

さい。

さらに、渡航・滞在先の国・地域において緊急事態が発生した場合、メールアドレス等を登録されている場合には、外務省から随時一斉メール等により最新の情勢と注意事項をお伝えしています。

3か月以上滞在する方は、必ず在留届を提出してください。

(<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/todoke/zairyu/index.html> )

3か月未満の旅行や出張などの際には、「たびレジ」に登録してください。

(<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/#> )

本件詳細については、以下のリンク先をご参照下さい。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo.asp?infocode=2016C153>

### **パスポートダウンロード申請書のご案内**

本年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、ご自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先をご覧ください。

[http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3\\_001509.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3_001509.html)

### **海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ**

当館ホームページにおきまして、テロ・感染症・麻薬犯罪等対策と「たびレジ」による緊急連絡先登録のお願いを掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo.asp?infocode=2015C361>

### **大使館広報文化センター開館時間**

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報：<https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22-584- 73 00，Eメール：

[info-cul@wr.mofa.go.jp](mailto:info-cul@wr.mofa.go.jp)，住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

## 文化行事・大使館関連行事

### **【開催中】地唄舞・ポーランド民族楽器とのコラボレーション公演【6月16日(木)～7月1日(金)】**

ポーランド7都市：ヴロツワフ、タルノフスキエグレイ、クラクフ、ワルシャワ、グダンスク、コビルニツァ、ズウプスクにて、一般社団法人地唄舞普及協会主催による『地唄舞・ポーランド民族楽器とのコラボレーション公演』が開催中です。

詳細：<http://tokijyo.com/view/event.html>

### **【開催中】作法の権威【6月19日(日)～25日(土)】**

梅見基金主催による小笠原流次期宗家小笠原清基氏による礼法についての講演が開催中です。

日程：

6月19～20日 プレゼンテーション(弓道、茶道)、クラクフ

6月21～22日 講演・デモンストレーション「日常生活における礼法の役割・意味」、ヴロツワフ

6月23～25日 プレゼンテーション「日本における礼法の歴史と現在」ワルシャワ大学、「日常生活及び武道における礼法」ミシヤドウオ市文化・スポーツセンター、「日本人とのコミュニケーションに役立つ礼法」、ワルシャワ市スウジェフ文化センター

詳細：<http://umemi.pl/>

### **【開催中】日本人形展【3月20日(日)～6月26日(日)】**

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、日本人形展が開催中です。

開催場所：マウオポルスカ県、クラクフ市、日本美術技術博物館、ul. M. Konopnickiej 26

詳細：<http://manggha.pl/>

**【予定】水曜映画上映会「秒速5センチメートル」【6月29日(水)17:30~】**

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、水曜映画上映会「秒速5センチメートル」が開催されます(日本語音声、ポーランド語字幕)。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 -584 -73 00, E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

**【予定】ポトカルパチェ県日本文化フェスティバル「ロータス」【7月2日(土)~3日(日)】**

ジェシュフ市にて、KRIS 協会主催による『ポトカルパツキェ県日本文化フェスティバル「ロータス」』が開催されます。日本文化・歴史・ポップカルチャーについて講演・ワークショップ(武道, 着物, 日本刀, 漫画, アニメ, J-ROCK, コスプレー等)が予定されています。

開催場所: ポトカルパツキェ県, ジェシュフ市, ul. 3 Maja 15

詳細: <http://festiwallotus.cba.pl/>

**【予定】手まりワークショップ【7月11日(月)~12日(火), 15日(金)~16日(土), 22日(金)~23日(土)】**

ピヴニチナ・ズドルイ市にて、ピヴニチナ市発展の会主催による『手まりワークショップ』が開催されます。

開催場所: マウオポルスカ県, ピヴニチナ・ズドルイ市, ul. Zagrody 24B

詳細: <https://www.facebook.com/Towarzystwo-Rozwoju-Piwnicznej-684306148327189/>

**【予定】アニマツリ2016【7月29日(金)~31日(日)】**

ワルシャワにて、日本の大衆文化愛好家協会「アニマツリ」主催による日本文化紹介イベント『アニマツリ2016』が開催されます。コスプレの他に、日本の伝統的な音楽や踊り、日本に関する講座、ワークショップ、コンテスト等が予定されています。

開催場所: ワルシャワ, Centrum Konferencyjno-Szkoleniowe, ul. Bobrowiecka 9

詳細: <http://festiwal.animatsuri.pl/>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

**皆様からの情報提供をお待ちしています**

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

**【お問い合わせ・配信登録】**

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト([http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm))も併せて御覧ください。  
在ポーランド日本国大使館 [newsmai@wr.mofa.go.jp](mailto:newsmai@wr.mofa.go.jp) (ご連絡は電子メールでお願いします。)